配合飼料の輸送に関する課題及び対応方向について

令和8年10月

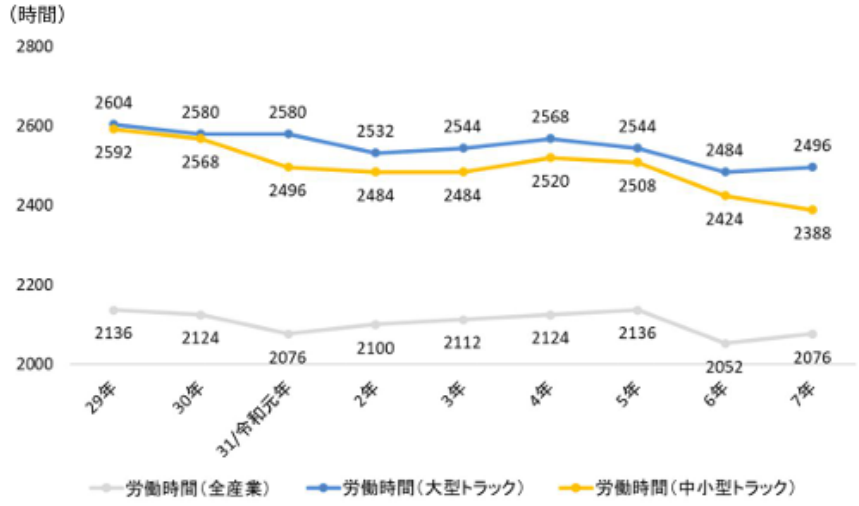
畜産局飼料課

トラック運送業における労働環境・人材確保の現状

国土交通省

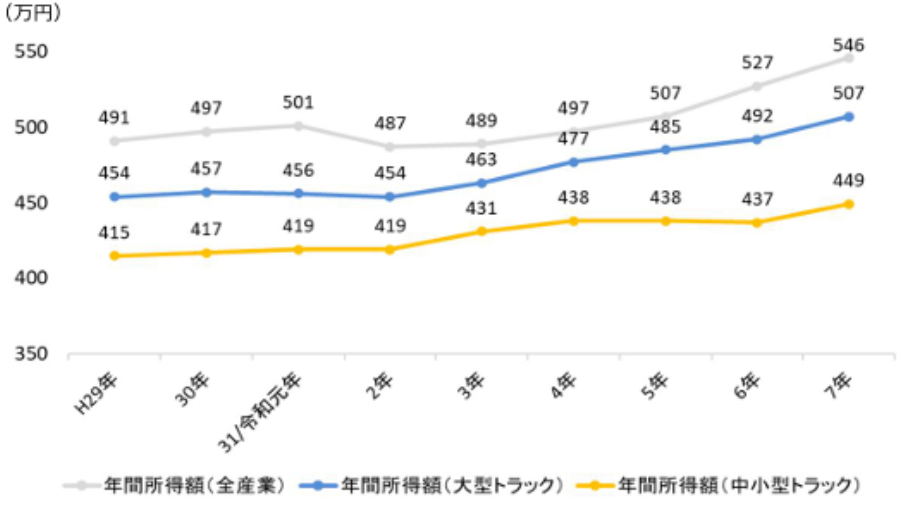
①労働時間

全職業平均より約２割長い。



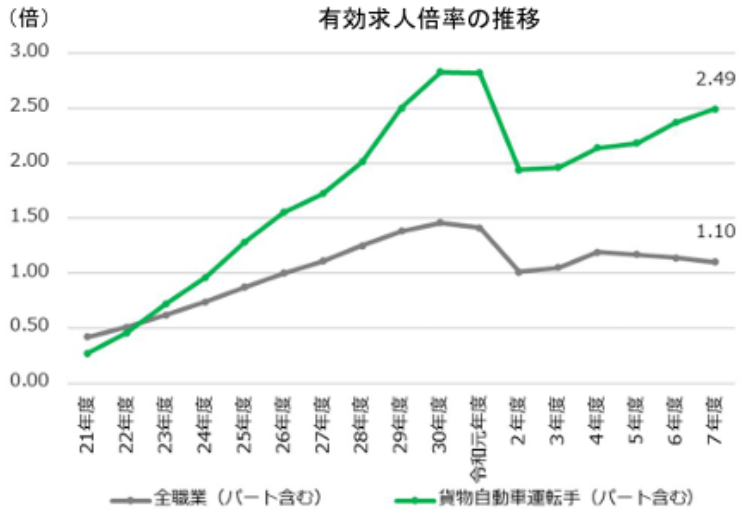
②年間賃金

全産業平均より約７％～１８％低い。



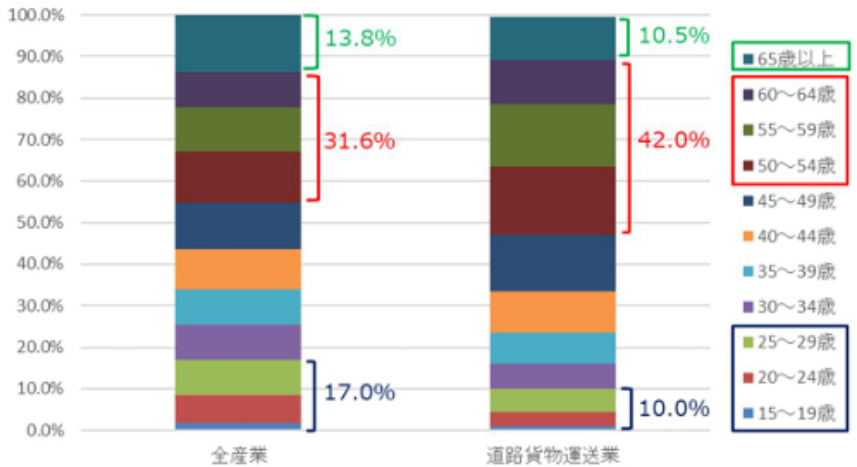
③人手不足

全職業平均より約２倍高い。



④年齢構成

全産業平均より若年層と高齢層の割合が低い。
中年層の割合が高い。



（出典）厚生労働省「賃金構造基本統計調査」ほかより国土交通省作成

出典：国土交通省HP

飼料輸送特有の課題

○　飼料輸送は、特殊車両を使用すること、飼料タンクに上って在庫確認や納品を行う高所作業が発生することなどから、物流業界全体で「2024年問題」による人手不足が懸念される中、他の品目と比較して、特に担い手の確保が困難な状況。

○　このため、飼料輸送特有の課題に早急に対応しないと、飼料が畜産農家に届かず、畜産業が継続できなくなる恐れがある。

○　飼料輸送の現状や課題について、業界の自主的な取組に加え、補助事業による実証が進められている。

【飼料輸送特有の課題】
トラックドライバーにかかる負担

・危険を伴う作業の発生

飼料タンクに上る高所作業、添加剤等の投入・混合作業、農家ごとの車両消毒、代用乳や単味飼料等の紙袋（20kg）の人力積み下ろし

・配送計画を無視した発注への対応

飼料タンクの残量確認不足による直前の発注、発注忘れなどの手続きの不手際

・非効率な配送環境への対応

配合飼料工場の太平洋側への集約化で輸送距離が長距離化、特殊車両での輸送が多く人手不足、荷積み時の待機時間の発生

飼料輸送の合理化

○　作業負担の削減と安全性確保、運賃と附帯業務に対する料金の明確化（令和7年4月1日より義務化）

○　飼料の正確な需要把握と効率的な配送計画

○　長時間輸送の削減

飼料輸送特有の課題＜危険を伴う作業の発生①＞

〇飼料タンクに上る高所作業

＊飼料タンク（3～10m）に上り蓋を開けてバルク車（飼料配送車）から飼料を投入

＊1回の投入に昇降作業が最低2往復（4回の昇り降り）発生

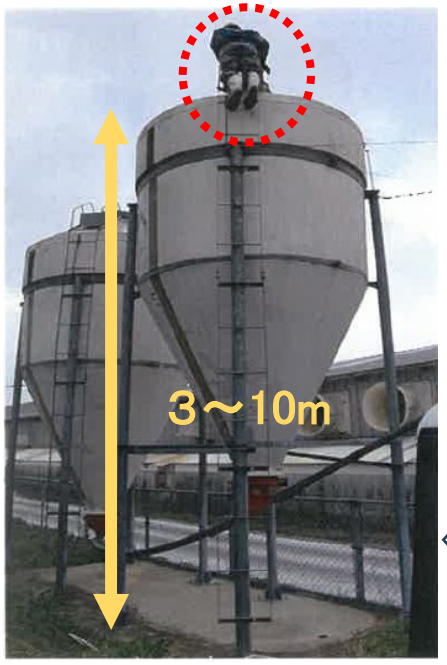
【実際に起こっている落下事故等】

- 安全対策のないはしごから足を滑らせて骨折した事故
- 高さ6mのタンク投入口から地面に墜落した事故
- 腐食したタンク上で作業中にタンクもろとも倒壊した事故

高所作業が大きな負担



上りづらい場所の
タンクへも昇降



飼料タンク昇降時の様子





腐食した飼料タンクでの
作業も発生

提供：（公社）鹿児島県トラック協会飼料・畜産部会、（一社）宮崎県トラック協会飼料・畜産部会

飼料輸送特有の課題＜危険を伴う作業の発生②＞

〇添加剤等の投入・混合作業

＊高さ約3mのバルク車に20kgの添加剤等の紙袋を肩に担いで梯子を上り飼料を投入・混合

＊個々の配送先ごとに投入・混合作業が発生

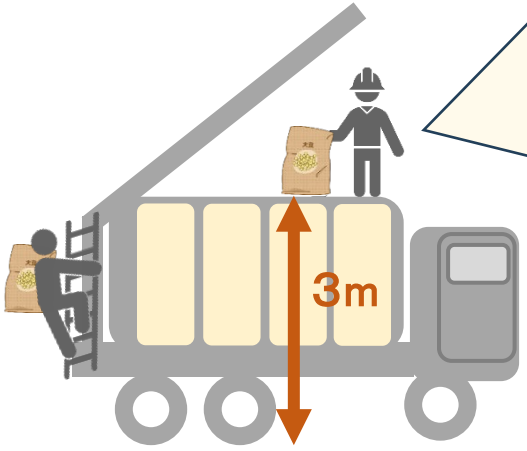
【実際に起こっている問題】

- バルク車に紙袋を担いで上る際に怪我
- 添加剤等を混合した後の都度の車両洗浄が必要
- 作業の対価が支払われず運送事業者によるサービス対応

運送事業者の本来業務ではない作業（附帯業務）が大きな負担



バルク車後部のはしごに20kgの紙袋を担いで上る



バルク車両内部に4～5室それぞれに投入作業



バルク車の天井開口部で添加剤等を手作業で投入

提供：（公社）鹿児島県トラック協会飼料・畜産部会、（一社）宮崎県トラック協会飼料・畜産部会

飼料輸送特有の課題＜配送計画を無視した発注への対応＞

○飼料タンクの残量確認不足による直前の発注や発注忘れなどの手続の不手際

＊在庫確認を怠ったことによる突発的な発注による配送に対応

＊目視での在庫確認に伴う高所作業が発生

【実際に起こっている問題】

- 庭先のタンクの在庫確認や発注代行を行う運送事業者が多数
- 不規則な配送への対応や多頻度の在庫確認作業に苦慮

在庫確認などの高所作業（附帯業務）、計画外の配送が大きな負担

タンクに上って在庫確認
↓
高所作業が発生

突発発注
↓
計画外配送の発生

不要な昇降
↓
ドライバーの労働時間増



出典：JA宮崎経済連

飼料輸送特有の課題＜非効率な配送環境への対応＞

○配合飼料工場の集約化で輸送距離が長距離化、小口配送への対応
- ＊特に日本海側の配送先へは長時間かつ長距離の輸送
- ＊立地状況によって小口配送となり複数回の輸送

【実際に起こっている問題】
- 一人の長時間輸送で時間外労働時間の上限規制に抵触するおそれ
- 道が狭く大型車が入れない地域や点在する地域への複数回の輸送対応

長時間の労働が大きな負担

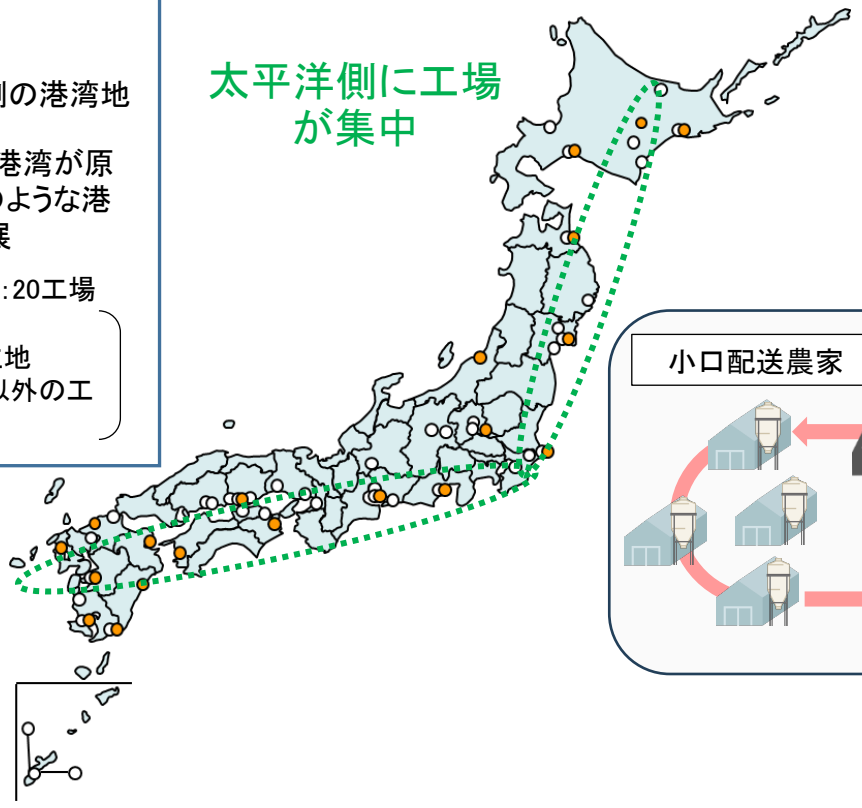
配合飼料工場の立地状況（注1）

企業数：54社
工場数：102工場

- 飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地
- 畜産主産地から比較的近い港湾が原料受入港として整備され、そのような港湾地域への工場の集約が進展

うち全国生産者団体系列の工場：20工場
- ● 系列の工場のみ立地
- ◎ 系列と系列以外の工場が立地
- ○ 系列以外の工場又は畜産以外の工場のみ立地

注1：公益社団法人配合飼料供給安定機構「配合飼料産業調査」で回答のあった承認工場及び承認工場を有する企業



＜小口配送の例＞



飼料穀物備蓄・流通合理化事業のうち飼料流通合理化対策

○ 飼料備蓄・増産流通合理化事業のうち飼料穀物備蓄・流通合理化事業のうち

飼料流通・製造合理化

令和８年度予算額　1,761百万円の内数（前年度 1,760百万円の内数）

＜対策のポイント＞

飼料輸送に携わるトラックドライバーの人材確保や環境負荷軽減のために、**飼料輸送の効率化に資する実証**等の取組を支援するとともに、効率的な配合飼料製造・供給を図るため、**配合飼料工場の事業再編に向けた調査**等の取組を支援し、**安定的な飼料流通により畜産生産基盤を維持・強化**することで、国民への**畜産物の安定供給**を図ります。

＜事業目標＞　［令和５年度→令和12年度まで］

○生乳生産量：732万トン→732万トン　○牛肉生産量：35万トン→36万トン　○豚肉生産量：91万トン→92万トン
○鶏肉生産量：169万トン→172万トン　○鶏卵生産量：248万トン→252万トン

＜事業の内容＞

1．飼料流通合理化対策

飼料輸送効率化等支援事業

飼料輸送の効率化に資する実証等の取組を支援します。

（例）① 飼料タンク内の在庫を把握し、情報共有するためのIoT機器の導入等の取組
② 農場内での高所作業の負担を軽減するための飼料タンク蓋遠隔開閉装置の導入や労働環境改善に向けた取組
③ モーダルシフトに関する取組や、ストックポイントを活用した輸送の効率化に向けた取組

2．配合飼料製造合理化対策

配合飼料製造体制構築検討支援事業

配合飼料製造業者等が行う配合飼料工場の**事業再編に向けた調査や計画策定の取組**等を支援します。

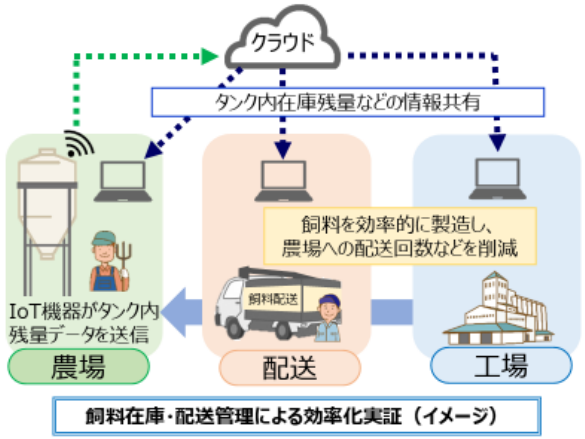
＜事業の流れ＞

国 →（定額、1/2以内）→ 協議会等（1、2の事業）

＜事業イメージ＞

1．飼料輸送効率化等支援事業（補助率：定額、1/2以内）

飼料輸送の効率化の実証に必要なIoT機器、飼料タンク蓋遠隔開閉装置の導入・設置経費及びモーダルシフト実証経費等を支援





2．配合飼料製造体制構築検討支援事業（補助率：定額）

効率的な配合飼料製造・供給を図るため、事業再編に向けた検討会の開催、事例調査、地域における事業再編計画の策定の取組を支援



［お問い合わせ先］畜産局飼料課（03-6744-7192）

飼料輸送の合理化の取組例①

○　作業負担の削減と安全性確保

トラックドライバーの飼料タンクでの高所作業等の附帯作業の軽減対策を検討・導入する取組が行われている。
（R4年度から当初予算にて実証の取組を支援）

【飼料タンク蓋遠隔開閉装置の導入】

地上からロープを引くと飼料タンク蓋が開閉する装置を導入することで、納品時の飼料タンクへの昇降の頻度が減少し、附帯作業の削減及び安全性確保に効果。
また、飼料タンク残量の在庫管理センサー等と組み合わせることで、必要最低限の昇降のみで飼料配送を行うことが可能となる。

＜納品時の作業削減イメージ＞

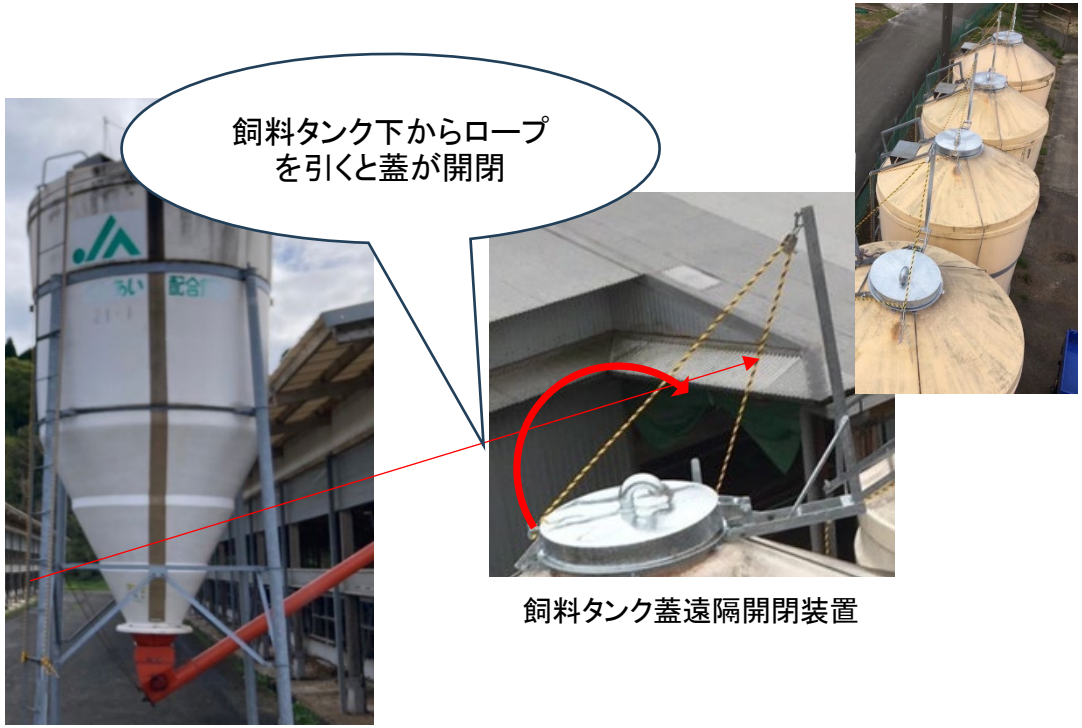
導入前

蓋開け（**1往復**）　→　補充　→　蓋閉め（**1往復**）

昇降回数の削減

導入後

蓋開け（**0回**）　→　補充　→　蓋閉め（**0回**）



飼料タンク

飼料タンク蓋遠隔開閉装置

写真提供：JA鹿児島県経済連

飼料輸送の合理化の取組例②

○　飼料の正確な需要把握と効率的な配送計画

効率的な配送管理のためのセンサー等を用いた在庫管理手法を導入する取組が行われている。
（R4年度から当初予算にて実証の取組を支援）

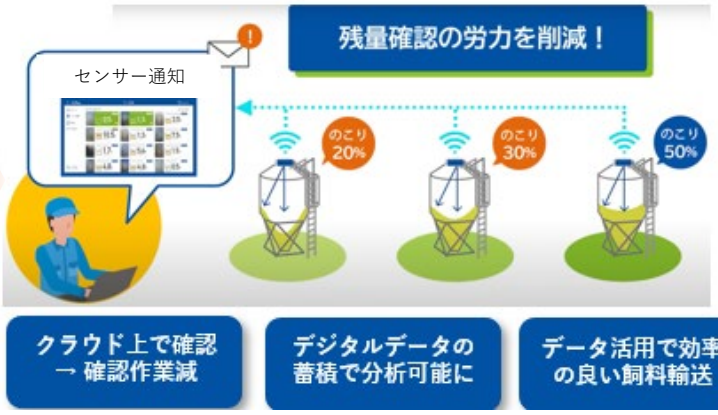
【飼料タンク在庫管理センサーの導入】

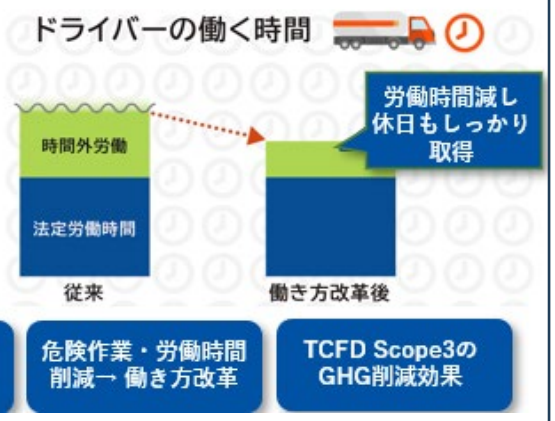
センサーによる在庫管理を行うことで、在庫残量不足による突発的な発注・配送や、飼料タンクに上っての在庫確認などの高所作業の削減に効果。

【取組前】
・適正な在庫管理が行われないことによる残量不足での突発的な配送発注
・目視での在庫確認や納品に伴う高所作業の発生

【取組後】
・在庫管理センサーにより適期の配送が可能になり、突発的な発注による輸送が削減（高所作業の回数削減）
・在庫管理により配送計画（日時、配送ルート、積載量）が効率的に機能







出典：JA宮崎経済連

飼料輸送の合理化の取組例③

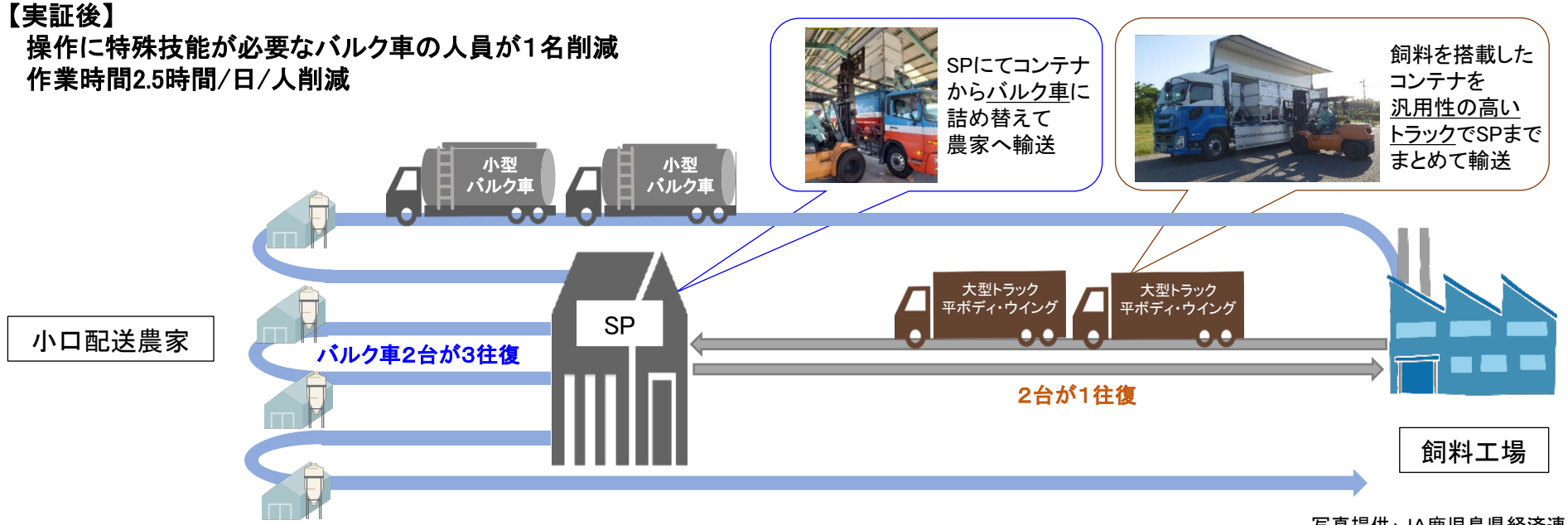
○　長時間輸送の削減（ストックポイントの設置）

小口のバラ配送農家が多い地域に、中継地点としてストックポイント(SP)を設置。SPまではトラック（平ボディやウイング車）にコンテナを載せてまとめて輸送し、SPからはバルク車にて農家へ配送。

【実証前】
工場から農家までバルク車で長距離輸送



【実証後】
操作に特殊技能が必要なバルク車の人員が1名削減
作業時間2.5時間/日/人削減



写真提供：JA鹿児島県経済連

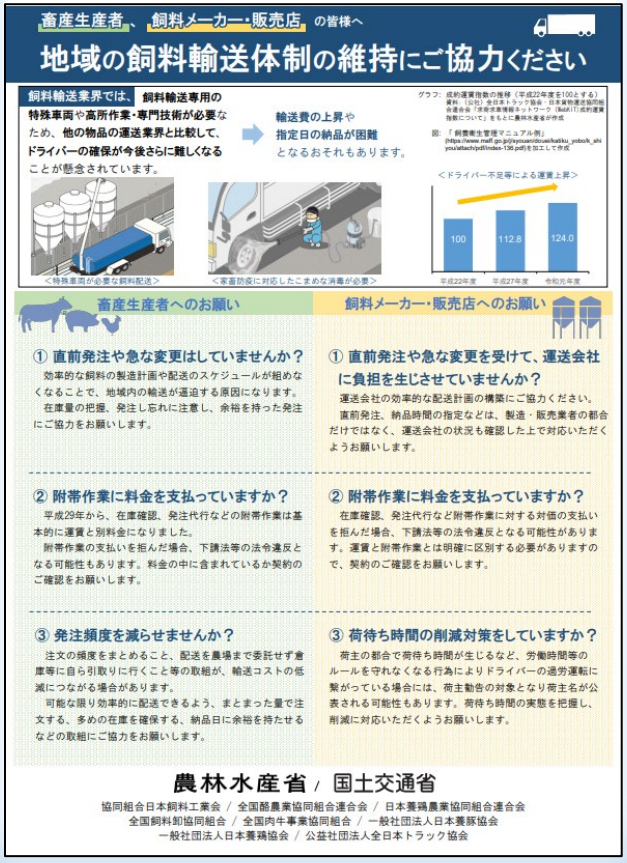
飼料流通合理化対策を活用した実証事例

年度	実証地	系統	実証内容	実証年度における効果
令和5年度	鹿児島	系統系	残量管理センサー及び飼料タンク蓋開閉装置の設置による、残量確認作業及び納品時の飼料投入作業時間等の削減効果を実証。ストックポイント（CFコンテナ）の設置による、配送時間等の削減効果を実証。	残量確認作業時間：71%削減 飼料投入作業時間：17%削減 配送時間：50%削減
	佐賀	系統系	飼料タンク蓋開閉装置の設置による、飼料タンクへの昇降回数及び納品時の飼料投入作業時間等の削減効果を実証。	昇降回数：100%削減 飼料投入作業時間：17.5%
	栃木～茨城～鹿児島、福島～宮城～鹿児島	系統系	国産飼料原料のトラック輸送について、内航船輸送へのモーダルシフトによる、トラック輸送距離等の削減効果を実証。	トラック輸送距離：91%（栃木～茨城～鹿児島） トラック輸送距離：93%（福島～宮城～鹿児島）
	北海道	商系	残量管理センサーの設置による、輸送回数及び突発的な発注等の削減効果を実証。	輸送回数：7.3%削減 突発的な発注：100%削減
	三重	商系	残量管理センサーの設置による、納品するタンク以外の残量確認回数及び納品するタンクでの残量確認時間等の削減効果を実証。	残量確認回数：61%削減 残量確認時間：5.5%削減
	北海道	商系	残量管理センサーの設置による、輸送回数及び突発的な発注の削減効果等を実証。	輸送回数：17%削減 突発的な発注：100%削減
令和6年度	熊本、福岡	商系	残量管理センサー及び飼料タンク蓋開閉装置の設置による、納品時の飼料タンクへの昇降回数及び納品作業時間等の削減効果を実証。	昇降回数：20%削減 納品作業時間：5.6%削減
	鹿児島	商系	ストックポイントにおける大型飼料タンク及び高能力コンベアーの設置による、車両間の詰替えや荷積み待機の削減によるドライバーの就労時間等の削減効果を実証。	就労時間：12%削減
	宮崎	系統系	残量管理センサーの設置による、残量確認作業及び突発的な発注等の削減効果を実証。	残量確認作業：100%削減 突発的な発注：100%削減
令和7年度	三重	商系	残量管理センサーの設置による、残量確認回数及び納品時の作業時間等の削減効果を実証。	残量確認回数：100%削減 作業時間：21%削減
	群馬	商系	ストックポイント（飼料タンク）の設置による、ドライバーの輸送時間及び輸送距離等の削減効果を実証。	輸送時間：10.6%削減 輸送距離：　2.4%削減
	北海道	系統系	残量管理センサー及び飼料タンク蓋開閉装置の設置による、輸送回数及び納品時の飼料タンクへの昇降回数等の削減効果を実証。	輸送回数：10%削減 昇降回数：52%削減

飼料流通合理化の推進に向けた取組（農林水産省）

○地域の飼料輸送体制の維持への協力依頼

行政・生産者団体・配合飼料メーカー・運送事業者等の連盟で発信（令和3年10月）

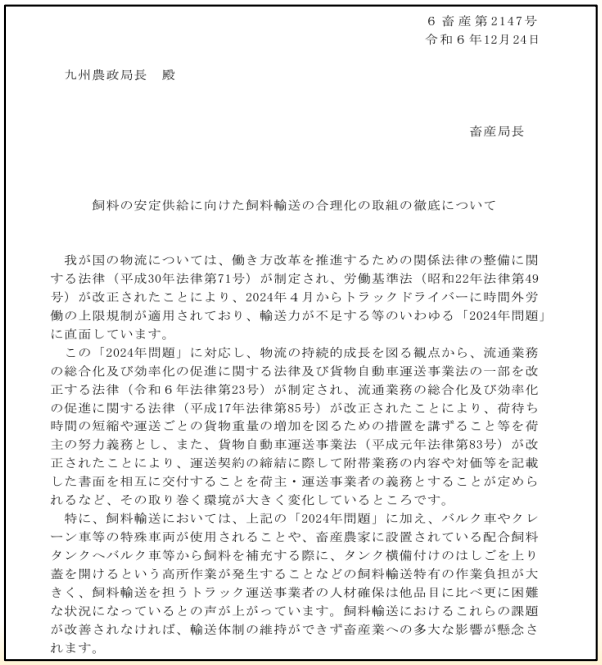


○飼料輸送の合理化の徹底にかかる畜産局長通知の発出

1　飼料輸送の作業に係る負担の削減及び安全性の確保

2　附帯業務を含む運送以外の役務等の取扱いの明確化等

3　長距離・長時間輸送の削減及び効率的な配送実施への協力



6 畜 産 第 2147 号
令 和 6 年 12 月 24 日

九州農政局長　殿

畜産局長

飼料の安定供給に向けた飼料輸送の合理化の取組の徹底について

我が国の物流については、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（平成30年法律第71号）が制定され、労働基準法（昭和22年法律第49号）が改正されたことにより、2024年４月からトラックドライバーに時間外労働の上限規制が適用されており、輸送力が不足する等のいわゆる「2024年問題」に直面しています。

この「2024年問題」に対応し、物流の持続的成長を図る観点から、流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律（令和６年法律第23号）が制定され、流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律（平成17年法律第85号）が改正されたことにより、荷待ち時間の短縮や運送ごとの貨物重量の増加を図るための措置を講ずること等を荷主の努力義務とし、また、貨物自動車運送事業法（平成元年法律第83号）が改正されたことにより、運送契約の締結に際して附帯業務の内容や対価等を記載した書面を相互に交付することを荷主・運送事業者の義務とすることが定められるなど、その取り巻く環境が大きく変化しているところです。

特に、飼料輸送においては、上記の「2024年問題」に加え、バルク車やクレーン車等の特殊車両が使用されることや、畜産農家に設置されている配合飼料タンクへバルク車等から飼料を補充する際に、タンク横備付けのはしごを上り蓋を開けるという高所作業が発生することなどの飼料輸送特有の作業負担が大きく、飼料輸送を担うトラック運送事業者の人材確保は他品目に比べ更に困難な状況になっているとの声が上がっています。飼料輸送におけるこれらの課題が改善されなければ、輸送体制の維持ができず畜産業への多大な影響が懸念されます。

○飼料輸送の合理化に関する全国連絡会議の開催

生産者団体、配合飼料メーカー、運送事業者等の飼料輸送関係者を一同に参集.し、飼料輸送の現状及び解決すべき課題について相互共有

○令和7年5月27日　第1回開催

○令和8年10月5日　第2回開催　←NEW



畜産生産者、飼料メーカー及び運送事業者の皆様へのお願い

＜飼料の安定供給のために＞



○　飼料輸送の現状理解のお願い

現　状

今後、飼料輸送が安定的に行えなくなる恐れがあり、運べなくなってからでは手遅れになります。畜産生産者、飼料メーカー及び運送事業者の3者が認識を一致させ、連携して現状の改善を図ることが急務な状況であることをご理解ください。

今、お願いしたいこと

飼料輸送の関係者である畜産生産者、飼料メーカー及び運送事業者において、今後も安定した飼料輸送を維持するために話し合う場を設け、課題や解決策を共有してください。





畜産生産者、飼料メーカー及び運送事業者の皆様へのお願い

＜飼料の安定供給のために＞

○ 現状改善のために取り組んでいただきたいこと

1 計画的で効率的な飼料輸送を目指してください。（このままでは時間外労働時間の上限規制に抵触し、輸送体制が維持できなくなります。）※令和7年4月1日より、荷主及び物流事業者は、物流効率化のために、積載効率の向上、荷待ち時間の短縮、荷役時間の短縮等の措置を講じることが努力義務化

【畜産生産者の皆様】 直前の発注で計画外配送を発生させないよう在庫管理を確実に行ってください。

【飼料メーカーの皆様】直前の発注や急な変更を受けて、運送事業者に負担を生じさせないでください。
荷待ち時間の削減対策に取り組んでください。

【運送事業者の皆様】 生産者や飼料メーカーに対して、何か飼料輸送で困っていることはないか、どのように改善すべきか積極的に投げかけてください。

2 飼料輸送には、附帯作業や危険を伴う作業があり、輸送の担い手であるドライバーが集まりにくくなっているため、状況の改善を図ってください。（このままでは担い手不足で、輸送体制が維持できなくなります。）

1 附帯作業の位置付けを運送契約に明記してください。【特に荷主（畜産生産者、飼料メーカー）の皆様】

運送事業者が、飼料タンクへの昇降を伴う在庫確認作業や、バルク車への添加剤等の投入作業などを行っている場合は、運送以外の役務であるため「附帯業務」にあたります。

運送契約の締結時には、全ての荷主が運送契約の締結にあたって、運送と運送以外の役務を分けてその内容や対価等を記載した書面の相互交付をしてください。※令和7年4月1日より義務化

2 危険作業を削減してください。【畜産生産者又は飼料メーカーの皆様】

農場に設置している飼料タンクの管理者を明確にするとともに、管理者はタンクに腐食や劣化等の安全性の問題が発生していないか、発生している場合は早急に補修等の対応をするようにしてください。

飼料タンク蓋遠隔開閉装置の設置を検討するなど、危険な作業を少しでも削減する取り組みをしてください。

【ご紹介】都道府県で実施している取組

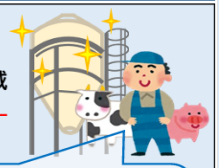
〇都道府県において独自に実施されている飼料輸送効率化に資する取組事例。

＜北海道＞

酪農・畜産経営の支援対策

令和８年２月
北海道農政部畜産振興課

配合飼料高騰対策支援事業（第４期対策）　国の重点支援地方交付金（令和７年度補正）活用事業



○　配合飼料価格の高止まりが長期化する中、酪農・畜産経営の負担軽減を図るため、配合飼料価格安定制度の令和７年度の契約数量を対象に、配合飼料１トン当たり800円を支援します。

区　分	内　　容
支援対象者	配合飼料価格安定制度に加入している道内畜産農家等
支援内容	令和７年度（R7.4月～R8.3月）の契約数量に係る生産者積立金の全額を支援
支援単価	800円／t
事業実施主体	道内の配合飼料価格安定制度の加入者を取りまとめる団体等 （ホクレン、配飼協、専門農協系団体　等）
予　算　額	31.8億円

※支援金は、事業実施主体からＪＡ等を通じて、交付されます。

配合飼料を運送するドライバーの負担軽減や、効率的な輸送につながる取組を、次の９つの中から１つ以上実施し、取組確認書を提出することが支援の要件となります。
※ 配合飼料の輸送体制の維持に向けたクロスコンプライアンス

① 配合飼料タンクのフタを地上で開閉できる装置を活用する（☆）
② 配合飼料タンクのハシゴに、墜落防止用の背かごなどの装置を設置する（☆）
③ 配合飼料タンクの安全点検を実施する（★）
④ 配合飼料タンクの昇降の支障になる障害物の有無と、地面の状態を点検する（★）
⑤ 配合飼料タンク周辺や作業動線に照明を設置する（☆）
⑥ 配合飼料タンク残量を検知するセンサー等を活用する（☆）
⑦ 配合飼料タンクの増設や大型化により貯蔵量を増やす（☆）
⑧ 配合飼料タンクの残量を把握し、計画的に発注する（☆）
⑨ 配合飼料の配送時間を柔軟に受け入れる（☆）



☆…既に対応できている場合は、その状態を適切に維持・継続することで取組を実施したとみなします。
★…点検の結果、改善点がある場合は適切に対処するものとし、適切な状態であった場合は、その状態を維持することで取組を実施したとみなします。

出展：北海道庁HP

事業の実施に当たり、畜産農家等によるドライバーの負担軽減や効率的な輸送につながる取組の実施を要件化するクロスコンプライアンスを導入。

＜熊本県＞

《熊本県》原油価格・物価高騰等の影響に対する農林漁業者の皆様への主な支援策

（R8.3月時点）

農業者の皆様へ

目的	事業名	内容	問合せ先
経営継続	【国】 農林漁業セーフティネット資金	原油価格・物価高騰の影響により経営が悪化した農林漁業者への資金融資	県団体支援課 096-333-2371
経営継続	【県】 収入保険加入緊急支援事業	災害発生等の収入減に備える収入保険加入に係る掛金の一部を助成する県農業共済組合への補助	県団体支援課 096-333-2369
影響緩和	【国】 施設園芸等セーフティネット構築事業 （施設園芸セーフティネット構築事業） （茶セーフティネット構築事業）	農業者と国の拠出により資金造成し、燃料（A重油、灯油、ガス（LPガス、LNG））価格が発動基準価格を超えた場合に補塡金を交付	県農産園芸課 （施設園芸） 096-333-2392 （茶） 096-333-2390
影響緩和	【県】 生産資材価格高騰緊急対策事業	生産資材価格高騰に対し、コスト削減に資する資機材導入に対する助成	県農産園芸課 096-333-2392
影響緩和	【国】 配合飼料価格安定制度	配合飼料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、(1) 民間（生産者と配合飼料メーカー）の積立てによる「通常補てん」と、(2)異常な価格高騰時に通常補てんを補完する「異常補てん」（国と配合飼料メーカーが積立て）の二段階の仕組みで、基準価格を超えた場合に補てん金を交付	県畜産課 096-333-2399
影響緩和	【県】 配合飼料緊急支援事業	配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金に対する助成及び畜産農家が行う飼料タンクの飼料残量測定装置等の導入を支援	県畜産課 096-333-2399

出展：熊本県庁HP

重点支援地方交付金（内閣府）を活用して、飼料輸送合理化に資する機械導入事業（飼料残量測定装置、遠隔開閉機能付き飼料タンク蓋等）を実施。